

2026年6月16日
四国化成建材株式会社

土留め対応、最大高さ3m対応、150mm厚など、 提案の幅が広がった「アートウォール®」

四国化成建材株式会社（本社：香川県丸亀市、代表取締役社長：眞鍋宣訓）は、アルミシステム塀「アートウォール」をリニューアルし、2026年6月より発売を開始しました。

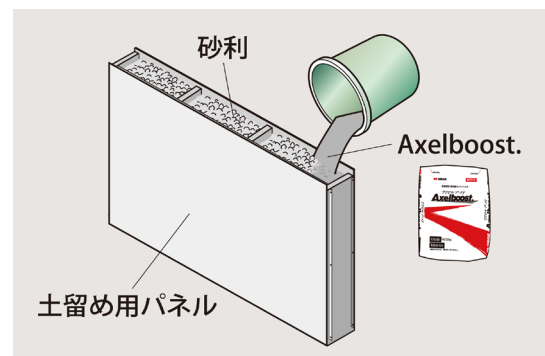
アートウォールは、パネルと支柱を組み合わせる「seed（シード）」と、アルミフレームに長尺の化粧材を取り付ける「modern（モダン）」の2タイプがあります。いずれも省施工かつ軽量で、安心・安全な塀が作れる“ブロックでもない、フェンスでもない第3の塀”として、2012年の発売以来、倒壊の恐れがある危険な塀のリフォームをはじめ、多くの現場に採用されてきました。

今回、土留め対応やサイズ追加など、より幅広い用途にお使いいただけるようにバリエーションを充実し、新たなステージへと進化しました。主なバリエーション追加は以下の通りです。

■土留め対応（seed）

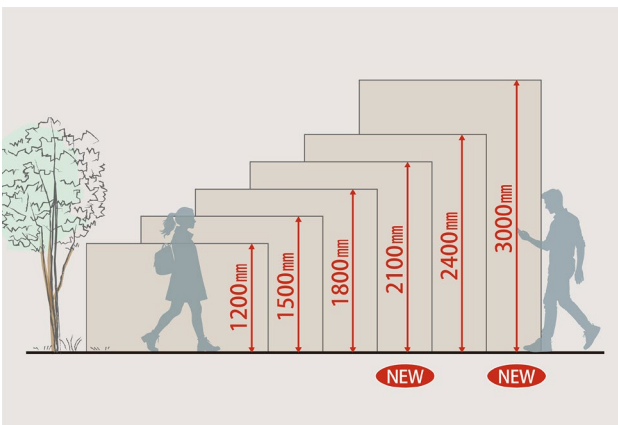


外構工事に伴う高さ600mm以下の軽微な土留め（見切り）に対応。



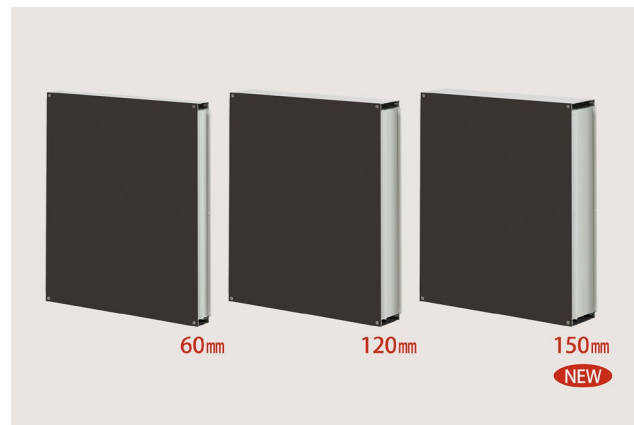
土留め用パネルに、砂利と当社 Axelboost（アクセルブースト）を充填して強度を確保しま

■高さバリエーションの追加（seed/modern）



圧迫感を抑えながらプライバシーを確保できるH21サイズと、非住宅分野で需要の高いH30サイズを追加。

■150mm厚の追加（seed）



非住宅分野で需要の高い150mm厚を追加。

■薄型笠木 (seed/modern)



近年のトレンドに合う薄型笠木を追加。

■宅配ボックスQB-P1型 (seed)



アートウォール seed に組み込めるフラットデザインの宅配ボックスを追加。

■仕上材の追加 (seed)



施工性に優れる大判の乾式パネル「Texage (テクサージュ)-B」を追加。



粗目の土壁で照明や植栽と相性が良い「けいそうファームコート外装」を追加。

※その他バリエーションなどについて詳しくはデジタルカタログをご覧ください。

<https://download.shikoku.co.jp/iportal/cv.do?c=3141700000&pg=1&v=CATALOG>

アートウォールとは

倒壊の恐れがある危険な塀に代わる“ブロックでもない、フェンスでもない第3の塀”として2012年に発売を開始したアルミシステム塀です。支柱とパネルを組み合わせて塗り壁やタイルなどで仕上げる「アートウォールseed (シード)」、アルミフレームに長尺の化粧材やサイディングを取り付けるだけの「アートウォールmodern (モダン)」の2タイプがあります。いずれも意匠性、安全性、施工性に優れるほか、リサイクル性に優れるアルミニウム製で、軽量なため製造過程や輸送時のCO₂削減にも貢献します。

当社は、今後も環境にやさしい商品開発と空間提案を通じて「人と自然に“よりよい巡り”をもたらすことで、皆が安心して暮らせる街づくりに貢献」してまいります。